

# 月刊しばうら

2019年 10月号

## 大動物事業部

令和元年度全国肉用牛枝肉共励会

開催日 11月1日(金)

令和元年度全国肉用牛枝肉共励会が、来る10月29日～11月1日にわたり開催されます。当共励会は、肉用牛肥育技術の確立と枝肉の肉質向上ならびに経済性の増進に資するため、東京食肉市場に出荷実績を持つ全国各地の出荷者によって肥育された牛が、農林水産大臣賞、東京都知事賞を始めとした数々の栄誉を競います。出品頭数は500頭の上場頭数にて開催され、和牛去勢牛が262頭、乳用去勢牛及び交雑去勢牛が74頭、和牛牝が164頭を予定しております。出品者並びに買受人の皆様方及び関係各位の皆様方の御来場をお待ちしております。

<行事予定>

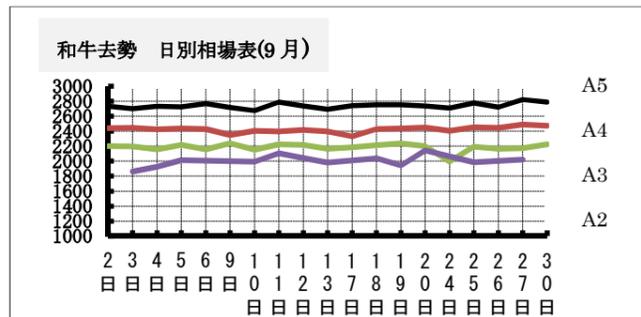
- 10月29日(火) 午前10時00分より出品牛測定(和牛牝)
- 30日(水) 午前8時30分よりと畜解体(和牛牝)  
午前10時00分より出品牛測定  
(乳用去勢牛及び交雑去勢牛・和牛去勢牛)
- 31日(木) 午前8時30分よりと畜解体  
(乳用去勢牛及び交雑去勢牛・和牛去勢牛)
- 11月01日(金) 午前6時30分より枝肉審査  
午前8時45分よりせり販売  
午後2時00分より褒賞授与式

<褒賞授与式会場>

東京都中央卸売市場食肉市場  
食肉市場センタービル9階東京都会議室

### <9月の相場動向>

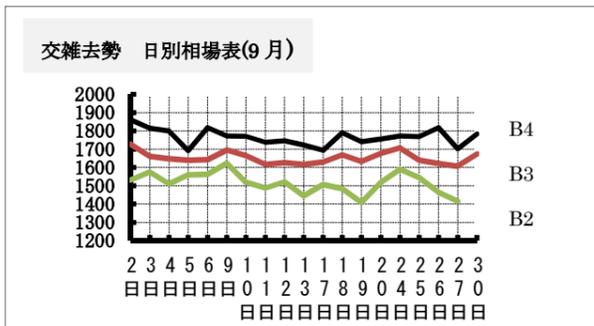
和牛去勢 A5 が前月比 72 円高の 2,745 円(前年同月比 91 円安)、A4 が同 55 円高の 2,431 円(同 88 円安)、A3 が同 21 円高の 2,196 円(同 77 円安)、A2 が同 34 円高の 1,973 円(同 64 円安)となり、交雑牛去勢は B4 が前月比 2 円安の 1,765 円(前年同月比 7 円高)、B3 が同 32 円安の 1,648 円(同 48 円高)、B2 が同 26 円安の 1,510 円(同 53 円高)、乳牛去勢は B2 で前月比 22 円高の 949 円(前年同月比 62 円安)となった。和牛は市中在庫もみられたものの、前月対比で全面的に小戻す展開となった。交雑牛は高値疲れから前月対比で多少弱含んだものの、全国的な出荷頭数の減少傾向により依然として底堅く、高値圏を維持している。



和牛去勢(月平均)

A5	2,745 円	(前年同月比 96.8%)	(前月比 102.7%)
A4	2,431 円	( " 96.5%)	( " 102.3%)
A3	2,196 円	( " 96.6%)	( " 101.0%)

A2 1,973 円 ( " 96.9%) ( " 101.8%)



交雑去勢(月平均)

B4	1,765 円	(前年同月比 100.4%)	(前月比 99.9%)
B3	1,648 円	( " 103.0%)	( " 98.1%)
B2	1,510 円	( " 103.6%)	( " 98.3%)

乳牛去勢(月平均)

B3	上場なし		
B2	949 円	(前年同月比 93.9%)	(前月比 102.4%)

### <10月の牛肉輸入量予測>

農畜産業振興機構の予測によると、9月の牛肉輸入数量は、前年比1.4%減の5万1,500tで、チルドは同11.3%増の2万3,100t、フローズンは同9.7%減の2万8,400tとしている。チルドは前年9月の台風21号による倉庫の浸水被害や通関の遅延により輸入量が少なかった反動により前年同月を大きく上回ると予測される。

輸入牛肉通関量	8月	前年同月	前年同月比	
チルド	豪州	11,490	11,498	99.9%
	米国	12,342	13,377	92.3%
	その他	2,296	1,410	162.8%
	合計	26,128	26,285	99.4%
フローズン	豪州	13,255	15,400	86.1%
	米国	8,449	11,430	73.9%
	その他	5,691	4,603	123.6%
	合計	27,395	31,433	87.2%

単位：t 出典：食肉速報

### <10月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による10月の成牛の出荷頭数予測は、前年比0.5%増の9万3,200頭で、品種別にみると和牛は同3.1%増の4万100頭、交雑種は同0.9%減の2万1,200頭、乳用種は同1.9%減の3万400頭としている。引き続き和牛の出荷頭数は増加、交雑種・乳用種は減少傾向となっている。東京食肉市場の10月と畜頭数は7,800頭を予定しています。

### <10月の牛枝肉相場見通し>

10月の枝肉相場の見通しは、消費税率の引き上げによる影響がどの程度かにもよるが、出荷頭数の次第ではもちあいか。とりわけ和牛の5等級は仕上がりの良し悪しにより等級内格差が出るものと思われる。交雑牛については引き続き出荷頭数が減少傾向にあり堅調に推移するものと思われる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,700～2,800	B4	1,700～1,800
A4	2,400～2,500	B3	1,600～1,700
A3	2,150～2,250	B2	1,500～1,600
A2	1,950～2,050		
乳牛去勢			
B3	1,050～1,150		
B2	1,000～1,100		

## 小動物事業部

8月の全国と畜頭数は、前年同月比4.5%減の125万8,505頭と前年同月より減少した。豚卸売価格は前年同月より10.5%高の562円、東京は8.4%安の570円となった。また、8月の豚肉通関数量は、8万5,070t(前年同月比6.7%増)と前年同月を上回った。内訳はチルドが3万5,778t(3.1%減)と減少した一方、フローズンは4万9,292t(15.2%増)と増加している。

2018-2019年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
8	70,135	79,654	18,182	157,848	69,223	80,511
9	67,675	68,972	18,048	149,511	67,772	77,309
10	82,053	83,979	18,178	147,729	81,863	85,761
11	82,254	83,346	18,435	144,982	81,925	86,093
12	79,338	73,146	19,394	140,967	78,307	77,161
1	79,477	61,703	19,643	144,246	79,203	58,424
2	75,590	81,638	19,818	147,097	72,334	78,787
3	74,058	68,303	21,221	145,268	72,588	70,432
4	77,788	98,235	22,544	167,222	76,406	76,281
5	75,254	84,396	21,643	184,963	76,085	66,655
6	67,048	76,246	23,332	183,952	65,290	77,257
7	74,899	83,315	21,828	192,531	76,348	76,736
8	67,745	84,982	20,615	200,018	68,891	77,385
比	97%	107%	113%	127%	100%	96%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：t、%

8月豚肉通関実績						単位：t、%	
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比		
アメリカ	17,137	87.5	デンマーク	9,592	116.8		
カナダ	17,778	108.5	スペイン	12,529	126.6		
メキシコ	859	89.3	メキシコ	8,198	124.8		
			アメリカ	3,945	88.8		
			カナダ	2,324	81.4		
合計	35,778	96.9		49,292	115.2		

### <9月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
2日	61,200	517	505	662
3日	62,500	561	534	949
4日	62,300	534	517	733
5日	62,100	535	525	634
6日	59,900	542	503	909
9日	59,300	526	516	672
10日	65,600	570	545	835
平均	61,842/日			770/日

月初の手当などもあり、徐々に引き合いは出てきている状況となった。週明けの9日から関東地方を台風が直撃し、交通が混乱したことにより全国と畜頭数は5万頭台となった。千葉県を中心に大きな被害をもたらした養豚産業にも多くの被害が出たことにより今後の出荷動向への影響も懸念される。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
11日	64,200	553	539	605
12日	65,900	566	552	742
13日	63,300	587	552	852
17日	73,200	637	603	572
18日	70,900	623	596	877
19日	69,200	589	547	736
平均	53,060/日			730/日

2週連続で3連休ということもあり全体的な荷動きは良好し相場は上昇傾向となった。

〃

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
20日	67,500	524	505	1,065
24日	74,800	522	499	832
25日	71,300	527	508	853
26日	70,800	571	486	824
27日	67,700	532	498	970
30日	65,100	499	476	706
平均	69,533/日			875/日

豚コレラや台風の影響などもある中で、出荷頭数は増加傾向にある。24日には全国と畜頭数は7万5,000頭に迫る頭数になるなど7万頭台が続いたが相場はこの時期としては底堅い展開が続いている。

### <10月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による10月の肉豚出荷予測では142万頭(前年比95%)と予測している。平年比でも微減の予測となっている。当市場の10月集荷予定頭数は1万8,500頭、1日あたりでは約880頭を見込んでいる。

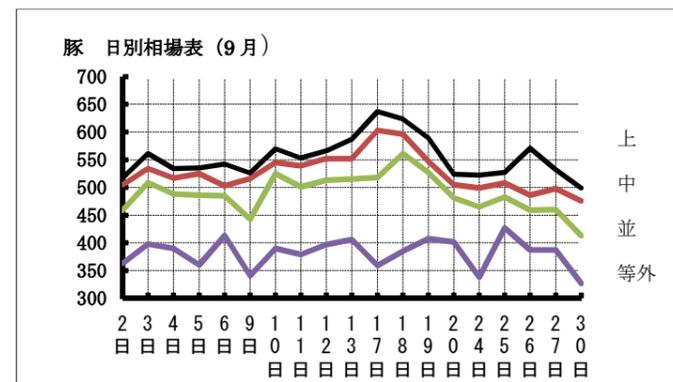
農畜産業振興機構によると10月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万7,500t(同92.3%)、内訳はチルドが3万3,900t(同94.9%)、フローズンは4万3,600t(同90.4%)と予測。

冷蔵輸入量は、前年の輸入量が9月の台風による通関遅延の反動により多かったこともあり前年同月をやや下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、冷蔵輸入品同様9月の台風による通関遅延の反動により多かったことに加え、輸入業者の買い付け時の国内在庫が高水準であったことから、前年同月を大きく下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同月をやや上回ると予測する。

例年10月は供給量が増えることにより相場安の展開となりそうだが、今年は消費税増税により消費者も価格志向が一段と強まり、安価な商材に需要がシフトする可能性がある。しかし、発生から1年以上が経過した豚コレラは、いまだ終息の兆しは見えておらず、今後の出荷頭数への影響や予防的ワクチン接種の動きなど状況によっては相場が上がる要因もある。

以上のことから当市場の上物。平均価格は470円前後、中物平均価格450円前後の展開と予測する。



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127